

第2章 計画推進のための各主体の役割

(1) 家庭の役割

- ◆ 男女がともに協力して子育てに関わり、子育ての喜びや責任を分かち合いましょう。
- ◆ 家庭は子どもの教育の出発点です。幼少期から、規則正しい生活習慣や、挨拶等の社会のマナー、物事の善悪の判断等の基本的な倫理観などを身につけさせましょう。

(2) 地域（市民や地域団体等）の役割

- ◆ 市民一人ひとりが子育てに対する理解と関心を深め、子育て支援や子どもの健全育成に協力し、子どもや子育て家庭を支えましょう。
- ◆ 民生委員・児童委員、主任児童委員や、ボランティア・NPOなどの地域の関係団体は、行政サービスでは行き届かないきめ細やかな活動を行うことができます。このような特性を活かし、子育て支援や子どもの健全育成活動を推進しましょう。

(3) 企業の役割

- ◆ 職場優先の企業風土を見直し、子育てと仕事の両立に理解ある職場づくりに努めましょう。
- ◆ 男女とも多様な働き方の選択ができ、子育てと仕事の両立が可能となる雇用環境の整備に努めましょう。

(4) 行政の役割

- ◆ 本行動計画に基づき、市民ニーズに即した次世代育成支援対策を総合的かつ計画的に展開します。
- ◆ 家庭や地域、企業等に対して、次世代育成支援の重要性を啓発し、理解・協力を求め、これらの各主体と連携・協働して、次世代育成支援対策を推進します。